

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	ベと病	白色疫病	灰色腐敗病	苗立枯病	灰色かび病	黒かび病	小菌核病	黒腐菌核病	黒斑病	さび病	乾腐病	軟腐病	腐敗病	りん片腐敗病
クブシールドFL	M1		-	-															◎
コサイド3000DF	M1		-	-													◎		◎
ドイツポルドーA水	M1		-	-		◎													
ベニドー水	M1		-	-													◎		
スターナ水	31		7	5													◎		
トップジンM水	1		1	*c			◎					◎							
トップジンMゾル	1		1	5			◎												
ベンレート水	1		1	6			◎		◎										
			*a													◎			
			*d		1											◎			
			*e		☆											◎			
ハチハチ乳	39	劇	1	2		◎													
アフェットFL	7		1	4			◎		◎			◎							
カナメFL	7	劇	1	4			◎		◎			◎							
カンタスDF	7		1	3			◎		◎			◎							
ケンジャFL	7		3	4					◎										
パレード20FL	7		1	3			◎		◎			◎							
アミスター20FL	11		1	4		◎	◎		◎										
スクレアFL	11		1	3			◎		◎			◎							
ストロビーFL	11		14	3			◎		◎										
ファンタジスタ顆水	11		1	5			◎		◎			◎							
メジャーFL	11		1	3		◎	◎		◎	◎									
ランマンFL	21		7	4		◎	◎		◎										
フロンサイドSC	29		3	5		◎	◎	◎	◎										
			*b	1														◎	
フロンサイド粉	29		*e	1									◎						
セイビアーFL20	12		1	3			◎		◎			◎							
			*b	1			◎					◎							
スミレックス水	2		1	5			◎		◎			◎							
ロブラール水	2		7	3			◎		◎					◎					
リゾレックス粉	14		*f	1					®										
オンリーワンFL	3		1	3			◎		◎										
トリフミン水	3		*b														◎		
			*e		1	☆											◎		
ポリオキシシ A L 水	19		3	5					◎			◎							
レーバスFL	40		1	2		◎	◎												
ピシロックFL	U17		1	3		◎													
バリダシン液5	U18		3	5													◎	◎	
キノドー水40	M1		14	3													◎		
ヨネポン水	M1		7	5		◎			◎								◎		
ジマンダイセン水	M3		3	5		◎	◎	◎	◎					◎	◎				
ペンコゼブ水	M3		3	5		◎			◎					◎					

タ  
マ  
ネ  
ギ

# タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	白色疫	灰色腐敗	灰色立枯	灰色かび	黒かび	小菌核	黒菌核	黒斑	さび	乾腐	軟腐	腐敗	りん片腐敗
オーソサイド水80	M4		1	5			◎		◎	◎									
ダコニール1000FL	M5		7	6		◎	◎		◎										
バルクーートFL	M7		1	5				◎	◎		◎								
リドミルゴールドM Z 顆水	4・M3		7	3		◎	◎												
フオリオゴールドFL	4・M5		7	3		◎	◎		◎										
カセット水	31・24		14	5													◎		
マテリーナ水	31・25		7	5													◎		
ナレート水	31・M1		14	3		◎											◎		
ゲッター水	1・10		7	5				◎											
ニマイバー水	1・10		7	5				◎	◎										
アタッキン水	1・25		7	5				◎									◎		
スミブレンド水	10・2		7	5					◎										
ジャストフィットFL	43・40		7	3		◎	◎												
シグナムWDG	7・11		*b 7	1 3		◎	◎	◎		◎		◎							
オルフィンプラスFL	7・3		1	3		◎	◎	◎	◎	◎		◎							
ベジセイバーFL	7・M5		7	4		◎	◎	◎	◎	◎		◎							
ホライズンDF	11・27		3	3		◎	◎												
アミスターオブティFL	11・M5		7	4		◎			◎										
ドーシャスFL	21・M5		7	4		◎			◎										
スイッチ顆水	9・12		1	3					◎										
カスミンバリダシン液	24・U18		14	5														◎	
カスミンボルドー水	24・M1		14	5														◎	
アグリマイシン-100水	25・41		7	5														◎	
ジャストミート顆水	12・17		1	3					◎										
ポリベリン水	19・M7		3	5				◎	◎										
ベトファイター顆水	40・27		7	3		◎	◎												
カンパネラ水	40・M3		7	3		◎	◎												
ベネセット水	40・M3		7	3		◎	◎												
カーニバル水	40・M5		7	3		◎	◎		◎										
プロポーズ顆水	40・M5		7	3		◎	◎		◎										
カーゼートP Z 水	27・M3		3	3		◎	◎												
ブリザード水	27・5		7	3		◎	◎		◎										

\*a: 移植直前3分間苗根部浸漬 \*b: 定植直前 \*c: 6回以内(但し定植後は5回以内)

\*d: 播種前(育苗培土混和) \*e: 定植前 \*f: 播種前

◎: リゾクトニア菌による病害

☆: セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タ  
マ  
ネ  
ギ

## タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ	タ ネ バ エ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ ギ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ケ ラ	コ オ ロ ギ
オルトラン水	1B		21	5		ギ		ネ									
サイアノックス乳	1B		14	3		◎											
ジェイエース溶	1B		21	5		ギ											
ショットガン乳	1B	劇	21	2		ギ											
スミチオン乳	1B		21	2		◎	◎										
ダーズバン乳40	1B	劇	21	2		ギ		ネ									
ダイアジノン乳40	1B	劇	21	2		◎	◎	ネ	◎								
ダイアジノン粒5	1B		*a 30	2					◎	◎						◎	◎
マラソン乳	1B		7	6		◎	◎	◎							幼		
アグロスリン水	3A	劇	7	5		◎											
アグロスリン乳	3A	劇	7	5		◎		ネ			◎						
アディオン乳	3A		7	5		◎				◎		◎					
ガードバイトA粒	3A		*b	5										◎			
スカウトFL	3A	劇	1	5		ギ											
ペイオフME液	3A	劇	14	4		ギ											
マブリックEW	3A	劇	7	2		ギ											
アドマイヤー顆水	4A	劇	*c 14	1 2	☆	◎											
ベストガード溶	4A		1	2		ギ											
モスピラン顆溶	4A	劇	7	3		◎											
ディアナSC	5		1	2		◎		ネ		◎	◎						
アグリメック乳	6	劇	14	2		◎		ネ									
アニキ乳	6		1	3						◎	◎						
コルト顆水	9B		1	3		ギ		ネ									
パダンSG溶	14	劇	1	3		◎		◎									
リーフガード顆水	14	劇	3	3		ギ		ネ									
カスケード乳	15		3	3		ギ		ネ									
ハチハチ乳	21A	劇	1	2		◎											
アクセルバイト粒	22B		1	3										◎			
ベネビアOD	28		14	3		◎		◎		◎	◎						
ウララDF	29		7	2		ギ											
グレーシア乳	30		7	2		ギ		ネ									
ファインセーブFL	34	劇	3	3		◎											
プレオFL	UN		3	2		ギ				◎	◎						
ビリーブ水	3A・15	劇	7	3		ギ											

\*a:播種時又は定植時 \*b:生育初期 \*c:定植前日～定植時

ギ:ネギアザミウマ ネ:ネギハモグリバエ 幼:幼虫

☆:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

## タマネギ (野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>雨よけ栽培を行う。</li> <li>発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 プロポーズ顆粒水和剤 1000倍 ホライズンドライフフロアブル 2500倍 リドミルゴールドMZ (顆水) ● 500～1000倍</li> <li>全身感染している株は、早期に抜きとり処分する。</li> </ol>	ネギの同項目参照  ●耐性菌を生じる恐れがあるので連用しない。
	収穫後	<ul style="list-style-type: none"> <li>枯死葉などの伝染源を畑に残さない。</li> </ul>	
黒斑病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。</li> <li>発生前から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ペンコゼブ水和剤 400～600倍 ロブラール水和剤 1000倍</li> </ol>	ネギの同項目参照
	収穫後	<ul style="list-style-type: none"> <li>枯死葉などの伝染源を残さないようにする。</li> </ul>	
萎縮病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネギ畑の近くに苗床を設けない。</li> </ul>	
	苗床期	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。</li> </ul>	
	定植期	<ul style="list-style-type: none"> <li>アブラムシ類の項を参考にアブラムシ類を防除する。</li> </ul>	
灰色腐敗病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> <li>有色種を栽培する。</li> </ul>	収穫期(4月下旬)に多雨のときや貯蔵中に発生が多い。白色種に発生多く、有色種に少ない。有色種も有色の外皮をはぐと感染しやすくなる。
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 スミレックス水和剤 1000倍 セイビアーフロアブル20 1500倍 ベルコートフロアブル 1000倍</li> </ul>	
	収穫期・貯蔵中	<ol style="list-style-type: none"> <li>晴天の日に球を傷つけないように収穫し、よく乾燥させて冷風で風通しのよい所に貯蔵する。</li> <li>貯蔵中の発病球はすみやかに取り除く。</li> </ol>	

## タマネギ (野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を認めたら、初期に次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍</li> </ul>	春季に雨が多いときに多発しやすい。
アブラムシ類		<ol style="list-style-type: none"> <li>寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきでは発芽揃～6月上旬、秋まきでは発芽揃～12月中旬)。</li> <li>シルバーテープを設置してアブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。</li> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍</li> </ol>	
ネギアザミウマ	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>反射性マルチを使用する。</li> <li>次の薬剤のいずれかを散布する。 ディアナSC# 2500～5000倍 ビリーブ水和剤 1500倍 マブリックEW 3000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍</li> </ol>	#アザミウマ類での登録
タマネギバエ・タネバエ	播種時または定植時	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤を散布する。 ダイアジノン粒剤5 3～5kg/10 a</li> </ul>	<p>作付前は、全面又は作条に散布し、土壤混和する。</p> <p>作物生育中は、作条処理して軽く覆土する。</p>